

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	令和5年11月7日（火） 午後6時～午後8時
開催場所	東部市民センター 大会議室・視聴覚室
会場責任者	花田 明仁
記録者	蛭名 和子
出席議員	花田 明仁、木村 淳司、天内 慎也、中田 靖人、軽米 智雅子、木下 靖 蛭名 和子、藤田 誠
参加者数	10人
報告内容	令和5年第3回定例会の主な出来事
意見交換内容 (意見の要旨)	<p>テーマ：除排雪について</p> <p>【①青森市の除排雪についてどう思いますか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにお金を使っているかわかりません！ (除排雪業者) ・排雪の時、狭いところを小さい除雪車でもっと丁寧に。 ・除雪車のオペレーターのレベルが違いすぎる。名前を出すなどしてやる気を出せばいいのでは。 ・除排雪について積雪20cmでも出動していない日がある。この原因は除雪業者が除雪工区を多く担当しているのではないかと①例えば民間のスーパー、駐車場など担当しているためとの話が出ているので、市として調査するべきと思う。②防雪柵の設置場所について高さ等についても考慮すべきだ。③間口の雪寄せで高齢者からの苦情が多い④水田の除雪について3月下旬まで排雪すること。春の耕作に農家は困る。 ・多く降ったら必ず除雪（排雪）すること、圧雪で30cm以上でも来ない。 ・通年の決まった業者だけでも、その時オペレーターによれば時前（ステージに入る前に）道路について見てもらいたい。残雪があつたりして、町内からの苦情があります。 ・毎年県道の通りのため、毎日除雪した雪片づけが大変、県道の通りに住宅があるため市の除雪外に住んでいる隣の町会は坂の多い町内なので、坂道を車が上れないので、排雪を早めにしてほしい。 ・以前に比べればよくやっている。 ・出動基準より降ったのに、ブルが来ない、おかしい。 ・屋根雪だと言ってもっていかない。

- ・雪の固いかたまりをドンと置いていく。
 - ・家の前にブルが入るがタイヤの跡を残して帰る。
 - ・除排雪作業の始まりから完了までの期間が長い。
 - ・狭い道路の除排雪多く。
 - ・大きい所から広い道路は満足している。
 - ・子どもの通学路＝狭隘道路なので来ない。
- (流融雪溝、用水路)
- ・用水路に排雪にした後の泥がたまっている。海の産物に影響が出ている。
 - ・予算の1割を流融雪溝に分けるべき、スピードアップするべき。
 - ・融雪溝の電気代が上がったので大変、時間を短くしている。
- (市民)
- ・除雪した後に雪を出す人がいる。

【②より効果的な除排雪を行うためにどうするか】

(行政)

- ・工区近くにより多くの雪寄せ場を確保する→効率よく。
- ・工区担当者が下請けに工区をお願いしている場合があると聞いているので、除雪の手抜きをしないよう指導すべきだ。
- ・排雪がなかなかこない→除雪だけでなくなんでも。
- ・狭隘道路になかなか入らないので、もっと早く多く入るといい。
- ・温泉水を活用してほしい。
- ・直営部隊に昼除雪してもらおう。
- ・雪を使う研究をしてほしい。
- ・冬季間の国道は渋滞がひどいので、朝の通勤ラッシュ時に、郵便局から消防署までの道路では、トラック（宅配、業者など）の路上駐車禁止時間を決めてはどうか
- ・堤ふ頭の雪捨て場の道路幅をもっと広くして、きれいに除雪してもらいたい。車の流れをよくするために。
- ・マンホールのまわりの雪が解けないようにする。
- ・狭隘道路に電線の地中化。

(除排雪業者)

- ・オペレーターは雪の降る前に担当区の道路状況をよく視察して、工作物を欠損させないようにすること。
- ・道路によって機械を変える＝時間がかかる。
- ・ロータリーが休んでいるのをもっと使うべき。
- ・機械や人員が足りないので、昼に除排雪をしてほしい。
- ・暖気前に底から排雪。
- ・町中の道路の狭いところは大型ダンプだけに頼っているため時間だけかかっているのを見るのですが、小型ダンプ（2 t）を利用したらどうかと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・業者が期間内に終わられる工区数を担当すること。現在は担当区数が多すぎるのでは？ ・タイムリー！をいかにとらえるか、来てほしい時にきてくれる体制。 <p>(市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者をボランティアで支える。玄関先に出したポール（旗）で見分けているところがあった。 ・近隣とおしゃべりできる。雪かきが健康にいい。 ・矢作融雪溝管理組合を運営しているので助かっている。（原別） <p>【③スムーズな除排雪にあたり一人一人ができること】</p> <p>(市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路上駐車しない。 ・排雪する日を決めて市民に出してもらいそれを持って行ってもらう→まずは試しにやってみる。 ・道路に家の土地内の雪出しをしない。 ・各自で少しでも雪片づけをする。 ・シーズン中、宅地内の雪を排雪する（難しいけど）。 ・オペレーターさんへの気づかいが必要。 ・粘り強く苦情を言う。 <p>(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪活用をもっと考える（雪室）。 ・空き地を買い取って捨て場をつくる。 ・流融雪溝を増やす。 ・融雪機などの購入（設置）費用の補助。 ・業者が雪を捨てるところを増やす。 ・やる気がアップするような団体づくり⇔やってほしい人とやれる人をつなぐ=若い人を主体に。 ・雪置くとこがない⇔身の回りの雪を片付け⇔動けない人はどうする <p style="text-align: center;">⇔</p> <p style="text-align: center;">ご近所トラブル</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">ボランティア？</p>
<p>記録者所見</p>	<p>除排雪について様々な意見がだされた。特に生活路線や狹隘道路の除排雪のやり方や頻度に課題がありそうだ。また、参加者（市民）としても、スムーズな除排雪に当たって、できることを考え実践している。</p> <p>今回の議員とカダル会のチラシが地元の各家庭に届くのが遅かったので、今後は早めに届くよう検討が必要と思った。</p>

※写真添付必須のこと

青森市議会議長 様

令和5年11月30日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 花田 明仁

